



## 茨城への郷土愛を存分に発揮

小絹中学校がいばらきっ子郷土検定県大会に出場

2月7日、「第13回いばらきっ子郷土検定県大会」が水戸市で開催され、小絹中学校が出場しました。県の伝統文化や魅力を学び、郷土への愛着を育むことを目的としたこの大会では、県内45校の代表が記述式問題や選択問題に挑戦し、学習成果を競いました。小絹中学校は惜しくも入賞を逃しましたが、今回の経験を通して郷土への理解と誇りをさらに深めることができました。

## 地域で高める防災意識

セイワ楽器きらくやまふれあいの丘で防災講演会を開催

2月21日、セイワ楽器きらくやまふれあいの丘で「つくばみらい市市制施行20周年カウントダウン事業 つくばみらい市防災講演会」を開催しました。消防庁の「防災意識向上プロジェクト」を活用したこの講演会は、「災害対応の第一歩は知識より意識を変えること」をテーマに、145人が参加しました。講師（語り部）の京英次郎さんからは「日ごろの備えと行動が、自分と地域の命を守る力になる」などのお話があり、参加者の防災意識を高める講演会となりました。



## 快音鳴らし、ホームベースへ！

豊ナインズの4年生以下チームが全国大会出場

2月下旬、「オールジャパンベースボールリーグ 2025 小等部 C リーグ (4年生以下) 全国新人大会」が愛知県で開催され、市内の豊ナインズが見事ベスト4進出を果たしました。石塚柊斗さんは「みんなが心をつなげて試合に挑みました。結果としては悔しい気持ちもあるので次は全国優勝できるように日々の練習を一生懸命頑張ります」と大会を振り返りました。

## 地域の課題を高校生と意見交換！

伊奈高校で市民懇談会とみらい探究を開催

2月24日、市制施行20周年記念事業の一環として、伊奈高校の生徒との市民懇談会と、同校が実施する「みらい探究 (総合的な探究)」の成果発表会を合同で開催しました。市民懇談会では、高校生ならではの発想で「市特産品を用いた給食献立」や「セイワ楽器きらくやまふれあいの丘の活用」などの意見や提案がありました。また、みらい探究では、生徒たちが本市の「食」や「農業」などのテーマを決め、自ら探究活動をした成果を発表しました。発表した生徒と市長や教育長たちが質疑応答を行うなど、地域課題について議論を深めました。

